

すぎなみ U30 ミーティング

みんなの 大運動会プロジェクト

学習支援者 柴田 真光
後藤 裕子
大塚 あゆみ

すぎなみ U30 ミーティング

1. 概要

すぎなみ U30 ミーティングとは

30歳以下の若い世代を対象に、職場や学校以外の場でつながりをつくり、地域に関わるきっかけを生み出すことを目指し、今年度スタートしました。

若い世代に地域への関心を持ってもらうには…

社会教育センターでは、これまで、「すぎなみ大人塾」をはじめとした、大人の学び場、地域に関わるきっかけとなる講座を開催してきましたが、参加者の年代は、50代以上が大半で、どうしたら若い世代にも関心をもってもらえるかが課題でした。

そのような中、令和4年度に、30歳以下を対象にした講座＆ワークショップ「みんな、どういう風に働いて生きているの？」を実施して、若い世代も、自分が住む地域で人とつながってみたい、異なる経験をしてきた人と関わることはおもしろいと感じていることがわかりました。

「みんなの運動会プロジェクト」

昨年度得られたことを踏まえ、まずは、若い世代が「おもしろそう」、「行ってみようかな」と思えるテーマ設定を行い、講座を進める中で、仲間づくり、地域への関心へつなげていくことを目指しました。そこで、誰もが体験したことがあり、イメージしやすい「運動会」をつくるプロジェクトとして行うことにしました。

運動会当日へ向けて

7月にプロジェクトメンバー同士の顔合わせをしてから、前半は主に種目の内容を詰めていきました。月に1～2回の講座で話し合いを重ねる中で、互いのキャラクターがわかり、それぞれの持ち場で準備を進める様子が見受けられました。本番が近づくと、当日使う得点版や、配布するプログラムなどの制作もプロジェクトメンバーが自主的に行ってくれました。

すぎなみ U30 ミーティング

みんなの大運動会プロジェクト

プロジェクトメンバー募集

地域の人々が楽しくつながりある「大運動会」を企画し、運営するプロジェクトメンバーを募集します。参加対象者は30歳以下！集まったメンバーで思いやりスキルを共有しながら、自分たちならではの運動会をつくります！

2023年 **07/23** (日) ~ **11/26** (日) **全8回**

対象 杉並区在住・在学・在勤の30歳以下の方 **応募締切** 7月13日(木)

定員 15名 (応募者多数の場合は抽選) 最終抽選の途中参加も可能です。お電話にお問い合わせください。

参加費 無料

主催・お問合せ：杉並区立社会教育センター TEL: 03-6317-6021 (平日8:30~17:00) / E-mail: shanyo@chugyugaku.jp
協力：マイタウン所在協議会 / (株) ジェイアール東日本都市開発 / ビンズ月夜台 / プログラム企画：鎌倉 東田真北 後藤裕子 / 大塚あゆみ (ネイバーズアート株式会社)

すぎなみみんなの大運動会プロジェクト

「すぎなみみんなの大運動会プロジェクト」では、30歳以下の若い世代が中心となって、地域での「運動会」を企画・準備し、実際に開催します！地域の方々が運動会を通して楽しくつながることを目的としつつ、この機会に交流したみなさんが、お互いの思いやりスキルを共有しながら、1つの形を一試につくっていくことを目指します。

プロジェクトスケジュール / 全8回

#1 7/23 (日) 13:30-16:00 マイタウン所在協議会主催 プロジェクトメンバーキックオフ！運動会企画協議！ お話し合いと参加者募集、募集したメンバーの紹介、このプロジェクトの目的と概要をつかみ、イメージを共有する。	#2 8/20 (日) 13:30-16:00 マイタウン所在協議会主催 運動会の種目を考えよう みんなの運動会にしたい！思い思いの種目にして、実施する。毎日や参加者など、具体的な内容を考え、運動会の全体像をつくる。
#3 8/27 (日) 13:30-16:00 産業観光部 運動会を盛り上げよう！ 運動会を盛り上げるアイデアを練る。運動会を盛り上げるための内容、キャッチコピーを決める。	#4 9/24 (日) 13:30-16:00 マイタウン所在協議会主催 本番に向けて内容をブラッシュアップしよう 地域の人を誘って、企画して実施する運動会の内容について相談。意見を聞き、内容をブラッシュアップする。
#5 10/15 (日) 11:00-15:30 ビンズ月夜台 運動会イベント開催！ 実際に地域に出て、運動会イベントを開催し、地域の方との交流の時間をもち、運動会参加者もたくさん募る。	#6 11/5 (日) 10:00-15:00 月夜台中学校 運動会準備講座！ 月夜台中学校に行って、当日の流れや備品等を説明する。本番のシミュレーションを行う。
#7 11/18 (土) 9:00-17:00 月夜台中学校 すぎなみ大運動会本番！！ 会場設営もして、地域の方を招き入れ、会場に準備した本番が安全に楽しく盛り上がるように準備する。	#8 11/26 (日) 13:30-16:00 マイタウン所在協議会主催 これまでのおひらきあり これまでを振り返り、反省や学びを共有する。この経験をもとに、今後の活動につなげていく話し合いをする。

合同開催期間 2024年2/20 (土) 13:30-16:30 セッション杉並 自分たちの取り組んできたことを広く地域に発信しよう

すぎなみU30ミーティングとは

杉並区立社会教育センターが30歳以下の若い世代向けに、学校や職場以外の場でつながりをつくり、地域に関わるきっかけを生み出すことを目指し、開催している事業です。

コーディネーター / 後藤裕子・大塚あゆみ・東田真北 (写真左から)

お申し込みフォーム

お申し込みはこちら
応募受付 / 月夜台まで

2. 実施状況

◇講座（全8回） 時間：13:30～16:00 会場：マイタウン阿佐谷協議会集会所ほか
コーディネーター：柴田真光、後藤裕子、大塚あゆみ（ネイバーズグッド株式会社）

	日	内容	参加
1	7月23日（日）	プロジェクトメンバーキックオフ！ 運動会企画始動！	14人
2	8月20日（日）	運動会の種目を考えよう	10人
3	8月27日（日）	運動会をPRしよう！	13人
4	9月24日（日）	本番に向けて内容をブラッシュアップしよう	9人
5	10月15日（日）	運動会エントリーイベント開催！	11人
6	11月5日（日）	運動会事前準備！	12人
7	11月18日（土）	「すぎなみみんなの大運動会」本番！！	13人
8	11月26日（日）	これまでのふりかえり	12人
	令和6年2月10日（土）	合同成果発表会	6人

3. プロジェクトメンバーのデータ（年代内訳）

～19歳	20～24歳	25～30歳	合計
1人	2人	12人	15人

4. 参加前アンケート

4-1 参加動機

- 地域に密着したイベントに参加するだけでなく、運営側として関わることに興味がありました。
杉並区に住んでまだ2年ですが、地域の人たちと関わりたいと思ったので参加を決めました。
- 運動会という誰でも経験したことのあるもの、かつ大人になってから運動する機会、誰かと団結して勝利を目指すことが少なくなり懐かしさを感じるものに面白さを感じたから。
- 同世代が中心となって行うイベントに参加してみたかったからです。
- 将来は地域に関わる仕事に就き、日本の良さを広めつつ、観光や地域を活性化させていきたいと考えているため、地域と関わることができるプロジェクトに参加したいから。また、高校生のうちにさまざまな世代の方と関わりながら知識と経験を身につけておきたいから。
- 長く西荻窪に住んでおり、西荻窪をはじめ、杉並区の魅力をみんなにPRしたいと思っていました。
駅でふとチラシを見つけ、久しぶりにワクワクしたため、応募させていただきました。
- 東京に住んでいると近隣の方がどのような方がいるか分からない為、横の繋がりを広げるきっかけ作りや地域を活性化させられると思ったため。

4-2 今回のプロジェクトでは、参加者の皆さんの思いやスキルを共有しながら、みんなで考え、「すぎなみみんなの大運動会」を開催します。あなたならなら、どんな運動会を行いたいですか？

- 参加したくなる、楽しそうな運動会。学校の運動会ではないような競技がある。参加した人の思い

出に残る。参加した後も参加者同士での交流が続く。

- 地域の方と協力して、LGBTQ の方や障がいを持っている方、高齢者や若年層の方など色々な方が参加して楽しめる運動会にしたいです。イベント後のゴミ問題や大会中に発電できるなど、環境に配慮した運動会にしたいです。すぐにできるかわからないですが、近くの方だけでなく、遠方の方も来てもらえるようにしたいです。
- 運動会の参加者はもちろんのこと、プロジェクトメンバーが楽しめて、活躍できる運動会にしたいと思っています。
- 老若男女、子どもも大人も障がいがある人も運動会が嫌いだった人でも楽しいと思える運動会にしたい。
- 「楽しかった！」と帰り道に思うような運動会にしたいと考えます。勝敗があるから盛り上がる場面も、優劣なくみんなで楽しめる場面もバランスよく取り入れたいです。

5. 講座内容の紹介

第 1 回

プロジェクトメンバーキックオフ！運動会企画始動！

日 時：令和 5 年 7 月 23 日（日） 13:30～16:00

参加者：14 人

会 場：マイタウン阿佐谷協議会集会所

【本日のゴール】

参加者がお互いのことを知り、運動会スローガンも生まれてこれからの活動に期待が高まり、次回以降もたのしみになっている！

【講座内容】

初めに、初対面となるプロジェクトメンバー同士で 3 人組、5 人組で自己紹介を行い、全体でこのプロジェクトに参加した理由やきっかけを話しました。参加のきっかけは、自分の学業や仕事に関することや、チラシを見て、直感で申し込んだなどさまざまでした。

続いて、「地域の運動会のイメージ」と「運動会で大切にしたいこと」をふせんに書き出し、それを基に運動会のスローガンを考えました。

＜地域の運動会のイメージ＞

- ・楽しく、ガチンコ
- ・地区対抗
- ・誰でも参加できる
- ・盛り上がっているイメージがない
- ・子ども連れか中高年層が多い

など

＜運動会で大切にしたいこと＞

- ・全世代が楽しめる
- ・知らない人とも一生懸命になれる
- ・地域に興味を持ってもらいたい
- ・勝敗関係なく楽しめる
- ・気軽さ

など



第2回

運動会の種目を考えよう

日 時：令和5年8月20日（日） 13:30～16:00

参加者：10人

会 場：マイタウン阿佐谷協議会集会所

【本日のゴール】

運動会の種目を考えて、活動のイメージが膨らんで、地域運動会を形にしていくことにワクワクしている！



【講座内容】

当日実施する種目を、まずは、個人で考えました。定番の種目でも新しく生み出した種目でも良いこととして書き出し、全員で30種目ほど出しました。

種目の特性ごとに「集団種目」、「個人種目」、「変わり種」の3種類にカテゴリー分けし、カテゴリーごとにグループを組んで、実際に参加する人のイメージや、全世代が参加しやすいかどうかなどを考えながら、候補を絞りました。

グループを超えて意見交換し、それを踏まえて全体で8つの実施種目と実施順を決定しました。



第3回

運動会をPRしよう！

日 時：令和5年8月27日（日） 13:30～16:00

参加者：13人

会 場：産業商工会館 第1集会室

【本日のゴール】

各種目の詳細を考えて運動会の内容がかなり具体的になり、このプロジェクトについていろんな人に伝えたいと思っている！



【講座内容】

前回決まった8種目について、グループごとに分担した2～3種目のやり方を話し合っていました。この日で集まるのも3回目、また、前回と同じグループでの話し合いということもあり、活発に意見を交わすことができました。

さらに、グループでまとめた各種目の実施方法を全体で共有し、質疑応答をしながら、考えが足りていないところを整理しました。



第4回

本番に向けて内容をブラッシュアップしよう

日時：令和5年9月24日（日） 13:30～16:00

参加者：9人

会場：マイタウン阿佐谷協議会集会所

【本日のゴール】

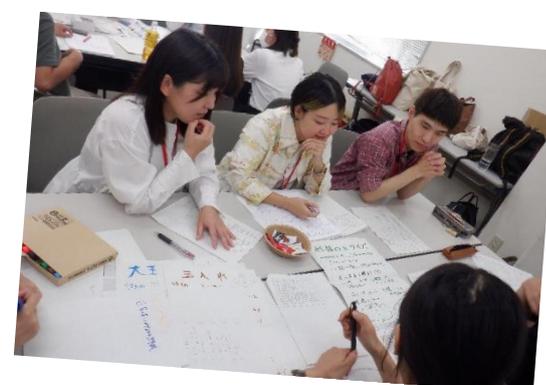
周りの意見を踏まえながら内容を細かいところまで再検討していき、企画がより自分ごとになって、本番&エントリーイベントに向けてワクワクしている！



【講座内容】

初めに、前回の講座で考えた実施方法について、地域の方々へ意見をもらいたいことをアンケートにして回答いただいた結果を共有しました。

その後、前回と同じグループで、さらに種目の運営の詳細を練りました。話せば話すほど、疑問や決めておくべきことが生まれ、目標時間を超えて話し合いが続きました。



第5回

運動会エントリーイベント開催！

日時：令和5年10月15日（日） 11:00～17:00

参加者：11人

会場：ビーンズ阿佐ヶ谷

【本日のゴール】

エントリーイベントを自分たちで開催して、様々な人と交流することで、地域で人と関わることや自分たちの企画を伝える面白さを感じ、運動会本番がより楽しみになっている！

【講座内容】

この日は、11月18日に開催する運動会のPRと参加エントリーにつなげるための「エントリーイベント」を開催しました。JR 阿佐ヶ谷駅前にあるビーンズ阿佐ヶ谷にご協力いただき、中杉通りに面したメインエントランスにて玉入れ体験、てくてく広場にて巨大カルタや得点板などを制作する公開作業を行いました。

玉入れ体験では、親子を中心に通りすがりの方に声をかけて、玉入れを楽しんでもらい、これから開催する運動会についてお話しました。あいにくの天気ではありましたが、玉入れを待つ列もでき、さまざまな世代の方とコミュニケーションをとることを楽しみ、運動会本番へ気持ちを高めました。



第6回

運動会事前準備！

日時：令和5年11月5日（日） 10:00～15:00

参加者：12人

会場：阿佐ヶ谷中学校



【本日のゴール】

実際に本番の会場で最終確認をして、イメージを明確にする。

事前準備をしっかり行って、安心した気持ちで、本番を迎えることにワクワクしている！

【講座内容】

運動会の会場である阿佐ヶ谷中学校にて、当日使用する物品や今まで考えてきた各種目の流れの確認を行いました。今まで種目運営について議論を重ねてきたものの、実際に試してみると、決まっていなかったことが明らかになったり、改善のアイデアがたくさん出たりと、スムーズに進まない場面が多々ありました。そのような中でも、プロジェクトメンバーは、どうしたら参加した人を楽しんでもらえるか、円滑に運営できるかを空いた時間を見つけてグループで集まり、考えていました。

また、終盤には、種目以外の、当日の参加者の動線や開閉会式の内容などについても確認し、プロジェクトメンバーから、参加者に配慮した質問や提案が出ました。



第7回

「すぎなみみんなの大運動会」本番！！

日 時：令和5年11月18日（日） 9:00～17:00

参加者：プロジェクトメンバー13人、運動会参加者90人、運動会ボランティア19人

会 場：阿佐ヶ谷中学校

【本日のゴール】

地域の方が沢山集まり交流しあい、自分たちも多くの人と出会って、その時間をめいっぱい楽しみ、これまで企画してきたことの達成感を味わっている！

【講座内容】

いよいよ、7月から準備してきた「すぎなみみんなの大運動会」当日です。11月5日に会場で確認しからの2週間にも、全体の進行や配布物などについて調整が続き、楽しみと不安が入り混じりながらの当日でした。

今回は、プロジェクトメンバーで相談し、「自然を求めておでかけするなら？」というお題で「山チーム」、「海チーム」に分かれて対戦することになりました。10時を過ぎると、親子連れを中心に続々と参加者が来場し、開会式では、プロジェクトメンバーの手本にならって総勢100名ほどでラジオ体操を行いました。

種目が始まると、プロジェクトメンバーたちは、備品のセッティングや参加者の案内などでグラウンドを駆け回り、自分の担当しない種目のときは、フォローしあうことで、なんとか進めていきました。プロジェクトメンバーが工夫を凝らしたルールやお題などで各種目盛り上がり、参加者のアンケートでは、「大人は童心に戻ることができ、子どもは初めて行う競技をワクワクしながら体験できて楽しめた」といった声がありました。

8つの種目の中で特に盛り上がったのは、「最終決戦！天下分け目の『玉入れ合戦』」です。1回戦は、定番の玉入れを行いました。大人も本気で参加していたので、学校の運動会では見たこともないくらい玉が入りました。2回戦は、定番の玉入れに加え、ボーナスかごを背負ったプロジェクトメンバーが周囲を走りました。集計後、参加者から「海チームのボーナスかごの方が入りやすかったのではないかな？交代してもうひと勝負したい！」という声が挙がり、予定にはありませんでしたが、プロジェクトメンバーが話し合い、泣きのもう1回をすることになりました。この場面で、“プロジェクトメンバーが、参加者の人たちとコミュニケーションをとりながら、会場にいるみんなで大運動会をつくっている”という手ごたえが生まれました。



第8回

これまでのふりかえり

日 時：令和5年11月26日（日） 13:30～16:00

参加者：12人

会 場：マイタウン阿佐谷協議会集会所

【本日のゴール】

運動会本番と企画期間をふり返り、気づきや学びを共有して、ここで得た体験・自分の強みを今後につなげたいと思っている！

【講座内容】

初めに、運動会本番で、できた/良かったこと、できなかった/もっと改善できそうなことをグループで話し合いました。後者の「もっと改善できそうなこと」の方がたくさんの意見がでて、プロジェクトメンバーがどれほどこの運動会を良いものにしたいと思って過ごしてきたかがわかりました。

続いて、今回の経験を踏まえ、自分たちや、一緒に取り組んできたコーディネーター、社会教育センターへのアドバイスを考えました。そこでは、「もっと早くプロジェクトメンバー同士の交流の場をつくること」、「地域の人たちを巻き込む」、「ゆるさも大事」などが挙がりました。

最後に、この講座に申し込んだときからこれまでをふり返り、自分自身に掛けたい言葉を、一人ずつ発表し、他のプロジェクトメンバー全員から、それぞれにメッセージを贈り、締めくくりました。



YouTubeにて、プロジェクトのダイジェスト動画を公開中です！



こちらから、「杉並区教育委員会公式 YouTube チャンネル」へアクセスし、ぜひ、ダイジェスト動画をご覧ください！

6. 成果

若い世代へのアプローチ

まず、今までの他の成人向け事業で難しかった 30 歳以下の集客ができたことです。今回は、定員 15 人に対し、16 人の申し込みがありました。この講座が若い世代の目に留まった理由としては、「運動会」という想像しやすく、キャッチーなテーマ設定をしたことが挙げられます。また、講座チラシを A5 版で作成し、コーディネーターのご尽力もあって、若い世代が立ち寄る飲食店等に置いてもらえたことも効果があったと考えます。

「プロジェクト型」による講座運営

今回、若い世代を対象にするということで、座学ではなく、「みんなの大運動会プロジェクト」と銘打ち、地域運動会をつくるプロジェクトとして開催しました。「運動会」という明確な一つのゴールを目指しながら、進んでいったので、初対面の 15 人でしたが、回を追うごとにチームワークが育まれました。

また、初めての運動会づくりだったため、決めるべきことや作業が多く、継続して参加することは、簡単ではなかったはずですが、15 人中 13 人が運動会本番まで熱心に取り組んでくれました。これも、プロジェクト型で、仲間とともに共通のゴールを目指していたからだと考えます。また、「運動会」というアクティブなイメージと重なる、積極的なプロジェクトメンバーが集まりました。

地域の中で多世代が交流する機会

プロジェクトメンバーに向けた事前アンケートの「どのような運動会をつくりたいか」という質問で、子どもから大人までどんな人も楽しめるものにしたいという思いを複数人が記述しており、第 1 回のスローガン決めでは、「全世代大集合！」というキーワードが盛り込まれました。こういった意識の下、地域のさまざまな世代がともに楽しめる運動会を企画していきました。第 5 回では、阿佐ヶ谷駅前で「エントリーイベント」を行い、街ゆく人たちと玉入れを楽しみながら、直接、運動会の PR をしました。

このような準備を経て開催した運動会には、未就学児との親子連れを中心に、子どもから 60 代まで幅広い世代が参加してくれました。参加者からも、「様々な年代の人達と一緒に取り組める内容で楽しかった」といった感想がありました。

新しいコミュニティづくりの第一歩

今回、集まったプロジェクトメンバーは、講座の時間以外でも、交流を重ね、運動会に向けた準備に積極的に取り組んでくれました。本プロジェクトを通してのプロジェクトメンバーの感想の中には、「準備が大変だったからこそチームメイトと仲良くなることができました」、「最初はいきなり集まったメンバーで運動会なんて企画できるかな、と思っていましたが、講義の回数を重ねる中で、仲間も深まり、お互いの魅力を活かしながら、素敵な運動会を運営でき、とても充実していました」といったものがありました。このように、運動会企画を通して、プロジェクトメンバー同士の関係づくりが進み、すぎなみ U30 ミーティングを立ち上げた時に考えた「若い世代が主体となるコミュニティづくり」の第一歩となったと考えます。

また、第 8 回でプロジェクトの振り返りを行った際、「杉並愛」が深まったというコメントが多く、単に同世代でつながれたことにとどまらず、そのつながりを活かす先として、共通する「杉並」という地域を意識してもらえることも、成果の一つと考えます。

7. 課題

社会教育として「運動会」を企画・開催することの意味

まず、本講座の目的として、若い世代が地域にかかわるきっかけをつくるということがありました。今年度のプログラムでは、不十分だったと感じます。成果の中で、プロジェクトメンバー同士がつながりコミュニティができたことは挙げましたが、その反面、「すぎなみ U30 ミーティング」の外に目を向けたり、関わったりすることはできませんでした。

講座プログラムを企画していた当初は、講座の途中で、地域の方をお呼びし、運動会企画に対して意見をもらうことも計画していましたが、予想以上に、種目を0から組み立てることに時間を要し、事務局でアンケートを作成することにとどまりました。貴重な意見をいただけた一方で、プロジェクトメンバー自身が、運動会企画プロセスにおいて、地域の人と直接かかわる機会を作れませんでした。運動会の種目や、セレモニー、周知などで、地域の団体や施設、お店などとタイアップするようなしかけを作れると、地域ということは意識していないプロジェクトメンバーも、運動会を企画しているうちに、地域に関わることができるのではないかと考えます。

また、当日、参加者に楽しんでもらえたことは良かったですが、本当に「みんなの」大運動会になっていたのか、ただのスポーツイベントになっていなかったかという点で課題が残ります。例えば、参加者層は、未就学児の親子連れが半分以上だったことを踏まえると、ご高齢の方や、障害のある方など、まちの中にいるさまざまな人に向けた企画・周知ということは足りていなかったと感じます。加えて、運動会当日に、プロジェクトメンバーが参加者と積極的にコミュニケーションを取ったり、参加者同士が交流するきっかけをつくったりすることに意識が届いていなかったことも、今後、「イベントづくり」をする上で、改善すべき点だと考えます。

プロジェクトメンバーに取り組んでもらう範囲の設定

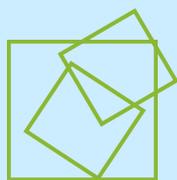
「運動会プロジェクト」を実施してみて、プロジェクトメンバーの感想からも、事務局の実感としても、「とにかく時間が足りなかった」ということが大きいです。その理由として、初めて行うことだったという要因はありますが、計画段階で考慮できたこととして、講座の中で、プロジェクトメンバーに運動会企画のどの部分を担ってもらうのかという範囲の設定が挙げられます。今回は、種目の案出しから、全8種目のルールや流れの詳細を決めるところまでと、ゼロからイチを作り出す部分が大きかったと感じました。運動会実施後のふりかえりでも、プロジェクトメンバーから、「8種目考えるのは厳しい」といった意見もあり、考えてもらう範囲を限定して、深く練ってもらうと前述の「地域とのつながり」など、+αのことを考える余裕も生まれ、より良い運動会になると考えます。

若い世代に合った広報のやり方

今回、申込時にとったアンケートで、「この講座をどこで知りましたか」と尋ねたところ、広報紙と区HPが合わせて3人だったのに対し、SNS（区以外のアカウントの投稿を含む）は5人、知り合いの紹介が4人と、従来の区での広報では、情報が届かなかった人の参加がありました。

以上のことを踏まえ、若い世代へ向けて情報を届ける方法を、従来の方法にとらわれることなく、模索していきたいです。

コーディネーターの3人から プロジェクトメンバーへの メッセージ



コーディネーター

柴田 真光、後藤 裕子、大塚 あゆみ
(ネイバースグッド株式会社)



「若い世代向けの講座を」というテーマを与えていただき始まった『すぎなみ U30 ミーティング』。企画から約1年をかけ、『すぎなみ みんなの大運動会』の実施に至ることができました。ワクワク半分、不安半分。プロジェクトが進むにつれ、タスクが明確になってくると、むしろ不安の方が増してきたのではないかと思います。その不安が結束力と自発性の向上につながったことは、想定外の嬉しい産物ではありましたが、コーディネーターの僕らとしてはあくまで補助に務め、プロジェクトメンバーの主体性を大切にしてきました。

このプロジェクトは「社会教育」や「生涯学習」と言われる分野の一環で行ってきたわけですが、その中でよく使われる「学び」について、本企画を立てるにあたって再考しました。「学び」というと、先生が生徒に説くイメージを持ちますが、今やその環境は様変わりしています。好きなときに好きな場所で好きなことを学べますし、ある分野では先生だった人が、違う分野では生徒となり、それが同じ人間同士の間で立場が変わったりしています。

こういった新しい「学び」の構造を次世代向けの社会教育に取り入れたい、という構想がベースにありました。

それぞれの得意分野や学び得てきたことを持ち寄り、インプットよりもアウトプットの場となること。そして、そのアウトプットされた場に、世代を越えたたくさんの方が集まること。

そんな構想から大運動会をつくることにつながっています。

とはいえ、そんなムズカシイことは考えず、プロジェクトメンバー、運動会参加者共に単純に「楽しかった！」と思ってもらえることが本望であり、そんな気持ちを持ってもらえることが最高の「学び」ではないかなと思います。おつかれさまでした！

柴田 真光

杉並という地域で、自分たちでゼロからつくった運動会。“地域の運動会を開催する”という目的のもと集まった30歳以下のメンバーと一緒に、初年度を無事やり遂げられたことに、感謝と達成感でいっぱいです。

同世代の友達がほしい、仕事以外で何かやってみたい、杉並のことをもっと知りたい、いろんな経験を積んでみたい……一人ひとりがそれぞれに、想いを持ってここに来たのだと思います。想いや背景は異なりますが、きっと全員が、今をちょっと変えようとする前向きな気持ちで。それらがかけ合わさって、地域の方々の力も借りて、自分たちの運動会ができました。本当にありがとうございました！！

今はまだ、始まったばかりの小さな取り組みかもしれませんが、より沢山の方と一緒に作る運動会へと育っていくといいなと思います。それは、企画でもいいし、参加でもいいし、ちょっとした応援や、宣伝でもなんでもいい。プロジェクトメンバーはもちろん、そこからつながる地域の人たちと、これからもっと杉並をおもしろくしていけることを楽しみにしています！

後藤 裕子

すぎなみ みんなの大運動会プロジェクトメンバーのみなさん、本当にお疲れさまでした！

限られた時間内で一から運動会を作り上げることは大変だったと思います。回を重ねるごとにみなさんの距離が近づき、関係ができていく様子は見ていて嬉しかったですし、他の人の考えを尊重しながらもしっかり意見を出し合いプロジェクトを進めていく姿は、とても頼もしかったです。

私はコーディネーターとして入らせていただくことは初めてだったので、どうサポートしていけるのか手探りな面もありましたが、社会教育センターの皆さんとコーディネーターでたくさん話し合い進めた一年は、とても勉強になるものでした。携わったみなさんにとって、刺激のある一年だったようにも感じます。

今回のプロジェクトが、メンバーのみなさんにとって何か新しい発見やキッカケとなっていますように。この繋がりを大切に、ぜひこれからも一緒に杉並区を盛り上げていけると嬉しいです。ありがとうございました！

大塚 あゆみ

プロジェクト メンバーの声

プロジェクトを通して気づいた「新たな自分」
の一面を教えてください。

001 |

お金という形で報酬をもらわなくても、参加者が楽しんでいるというだけでやりがいを感じることができる自分がいた。

002 |

自分は杉並区がとても好きなんだということがわかりました。また、最初は大人の方ばかりで不安でしたが、自分と比べて全く違う人生を生きていた人と話すことはとても面白かったです。プロジェクトメンバーの皆さんは、同じ地域に住む人たちだったので、もっと杉並区が好きな人と関わり、もっと杉並区を好きになるために、貢献できるよう活動していきたいと思えました。

003 |

良くも悪くもマイペースな一面。

以前思っていたよりも、自分はいかなる場面において楽しむこと、硬くなりすぎないことを心のどこかで大切にしていた。

(場面によってはただの「空気が読めない人」という評価になってしまうかもしれない、少し反省。)

004 |

- ・周りが見える
- ・こだわりの強い人たちと一緒に仕事をして対立や衝突を生むことなくチームを円滑に回すことができる
- ・チームメイトの言動や態度に気分を乱されることがない
- ・地域の人たちとコミュニケーションを取ることができる
- ・大人になっても「友達」を作ることができる

005 |

過去に参加していたボランティア等では1人でなんでも抱え込んでしまいキャパオーバーになることが多かったのですが、数年ぶりに運営側に関わって自分が抱えきれない作業はしない、多い作業は周りと分担する行動ができるようになっていました。「新たな自分の一面」とは少しずれているかもしれませんが、今回のプロジェクトを通して過去と比べて成長できていたという事実気づくことができました。あとは改めて地域と関わる活動が好きなんだと再確認しました。

006 |

新しい人間関係の中で、自分は相手に対する立ち振る舞いや相手からの見え方を器用に変えられる人間だと気づけました。

007 |

人を楽しませたりする企画をするのが好きなところ
人に興味はないが、いろんな人と協力し合うことが好き
大人数で話し合うことはやっぱり苦手だなと再確認です。

プロジェクトに参加してみた感想を自由にお聞かせください。

001 |

最初はいきなり集まったメンバーで運動会なんて企画できるかな、と思っていましたが、講義の回数を重ねる中で、仲も深まり、お互いの魅力を活かしながら、素敵な運動会を運営でき、とても充実していました！！

002 |

とにかく時間が限られていて進めていくのが大変だった。後になればなるほど、もっとこうしたらよかった。こうできた。と思うことがたくさんあった。でも、いろんな人と関わったのはとてもよかった。

003 |

初めての地域活動だったので、不安でいっぱいでしたが、とても楽しく取り組むことができました。学校の行事があったり、用事があって参加できないこともありましたが、当日は自分の高校の友人もボランティアメンバーとして参加してくれたり、運動会の参加者の方同士でお話をしていたりして、地域のコミュニティが広がる瞬間が見られて嬉しかったです。

004 |

とても嬉しかったです。最初は運動会が成功するのか不安でしたが、終わってみればやってよかったと思っただけです。新しい人間関係を作るきっかけづくりを提供して下さった本プロジェクトには感謝しかないです。

005 |

プロジェクトが終わった今、心の中がぼっかりと空いているような感覚になることがあります。きっとこのプロジェクトが充実していたからこそ、この気持ちになっているのだと思います。なんとなくで参加したプロジェクトで、右も左もわからない中でチームメイトや社会教育センターやコーディネーターの皆さんに支えていただき、なんとか運動会を完遂できたことを純粋に嬉しく思います。

また、準備が大変だったからこそチームメイトと仲良くなることができました。地元でもない街に友達ができたとするのはとても大きな出来事でした。私は4月に杉並に引っ越してきて区民歴はたったの半年ですが、もう杉並から離れたくないと思うほどに地域のことが好きになれたプロジェクトでした。また機会があれば参加したいと思います。

006 |

プロジェクト終了後はメンバーとの関わりが薄くなるのかなと思っていましたが、最終講座のあと「次いつ会おうか！」となったのがとても嬉しかったです。個人での飲み会や、数人で出かける約束などが来月再来月とあるので楽しみです。至らない点も多くありましたが参加者の人が楽しんできてくれ、プロジェクト外でも会える同世代との関わりを持てたので参加してよかったです。

007 |

メンバーも、お客さんも、みんなが楽しめる運動会が作れて嬉しかったです。こんなやつでよければまた仲間に入れてください。

008 |

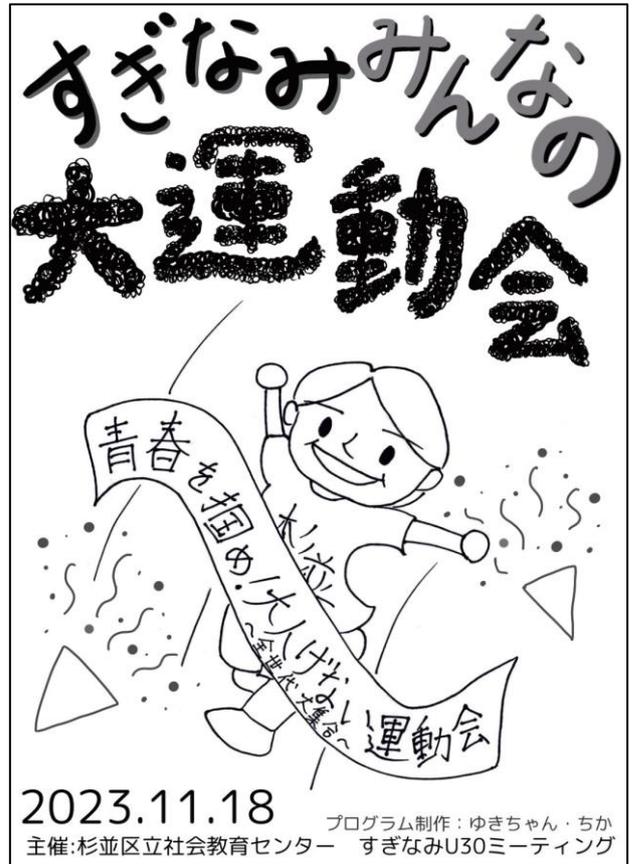
変わることはなかったけど、前からもややも感じていたことが確信に変わったぐらいです。

資料編

運動会当日に配布したプログラム

(表紙→)

(↓中面)



※参加する種目の前後の種目は集合タイミングによって参加できないため、出たい種目と募集・集合タイミングをよく確認してください

時間	種目	備考
10:30 ~11:00	開会式	
11:00 ~11:20	①その声援を大玉に 走れ勝利へ「大玉転がし」	
11:20 ~11:40	②初耳!? もっと知りたい「杉並〇×クイズ」	
11:40 ~12:00	③世代の架け橋! 「障害物リレー」	
12:00 ~13:00	お昼休み	
13:00 ~13:30	④戦略と工夫で狙え! 「ボールカーリング」	
13:30 ~13:50	⑤当てはまる杉並人を探し出せ! 「借り人競争」	
13:50 ~14:20	⑥走って! 取って! 掲げて! 「巨大杉並カルタ」	
14:20 ~14:40	⑦タイムアタック! 「ジェスチャークイズ」	
14:40 ~15:00	⑧最終決戦! 天下の分け目の「玉入れ合戦」	
15:00 ~15:30	閉会式	

種目紹介

- ★ その声援を大玉に 走れ勝利へ「大玉転がし」
...海チームと山チームそれぞれリレー方式で大玉を転がしてゴールを目指します。第一競技なので、同じチームの方と絆を深めると共に1位を目指して頑張らしましょう!
- ★ 初耳!? もっと知りたい「杉並〇×クイズ」
...杉並区にまつわる知識を集めて〇×クイズにしました。正しいと思うほうを答えてみましょう! 答えを知ったらきっと 明日誰かに話したくなるはず!
★ 世代の架け橋! 「障害物リレー」
...世代の違う3人が1つのチームとなって競い合う障害物リレー! 様々な障害物を乗り越えてバトンをつなぎ、ゴールを目指せ! 世代を超えて団結し1位を狙おう!
- ★ 戦略と工夫で狙え! 「ボールカーリング」
...自分のチームのボールを白いボールにいかになびけられるかを競うゲームです。ボールを近づけるだけでなく、相手のボールを弾いたり、白いボールの位置をずらしたりなどの戦略が重要なゲーム!
★ 当てはまる杉並人を探し出せ! 「借り人競争」
...参加者は2人1組となって観客からお題に合う人を見つけて、ゴールを目指そう! お題ごとにボーナスポイントが設定されているので、どのお題を選ぶのかも勝利のポイント! 観客を巻き込んで盛り上がりよう!
- ★ 走って! 取って! 掲げて! 「巨大杉並カルタ」
...杉並区ならではの風景やイベントが描かれた「すぎなみ郷土カルタ」を使って、カルタ取りをします。読まれた絵札を探して、いち早く見つけ、掲げたチームがポイントを獲得!
★ タイムアタック! 「ジェスチャークイズ」
...出題者のジェスチャーを見て、全部で5つのお題を当てるのにかかった時間を競うゲーム。お題は簡単なものから難しいものまで様々! 出題者は恥ずかしがらないこと、回答者は間違いを恐れないことが成功のカギ!
- ★ 最終決戦! 天下分け目の「玉入れ合戦」
...自分のチームのカゴに玉を投げ、玉が多く入ったチームの勝利です。2回戦行い、1回戦ごとに点が入ります。運動会最後の種目です。力を合わせてチームを勝利に導きましょう!

プロジェクト紹介

こちらからプロジェクトの様子を動画でご覧いただけます→

すぎなみみんなの大運動会は杉並区立社会教育センターが30歳以下の世代向けに、学校や職場以外でのつながりをつくり、地域に関わるきっかけを生み出すことを目指して立ち上げた「すぎなみU30ミーティング」の一環で開催するイベントです。若い世代が中心となって企画をし、地域を巻き込み、世代を超えた新しいつながりをつくれます。地域での活動を通して、これからも様々な場面で活躍できる環境をつくっていきます。

すぎなみみんなの大運動会 プロジェクトメンバー紹介

ぬいぬい・くらら・おおば・りん・すがぬま・ひらたん・にしじま・まなてい・りゅーき
くらはら・ゆきちゃん・たくみ・ちか

すぎなみ大人塾

すぎなみ U30 ミーティング

合同成果発表会



4年ぶりの

開催！！

合同成果発表会

令和6年2月10日(土)

13:30~16:30

セッション杉並ホール



はじめの一歩コース



講座 昼の部

今年からスタートした「はじめの一歩コース」。受講者ほぼ全員が舞台に登壇しました。半年間の講座での学びや気づきを、劇で発表しました。劇の設定は、講座の時間“昼の部”と講座が終わってからの“夜の部”とし、受講者の言葉を再現した劇となりました。



みんなでドキドキ。出番待ち…。



講座 夜の部

久我山～浜田山コース

受講者が4つのグループ（①参加した理由、②クイズ作りのためのグループづくり、③実際のクイズ、④これからの活動について）に分かれて発表をしました。



フェーズ1：
参加した理由



フェーズ2：
グループワーク

フェーズ3：クイズ
(成果物)の紹介



フェーズ4：講座に参加
して、そしてこれから…





総合コース



総合コースは、講座で学んだ「当事者研究」の中で自分たちが伝えたい「もやもや」をコント風寸劇にして発表しました。
脚本・演者・音響・PC 操作…などなど全てが手作りでの発表でした。
最後に講座内でみんながこれは伝えたい！という「べてるの家のことば」を読み上げました。

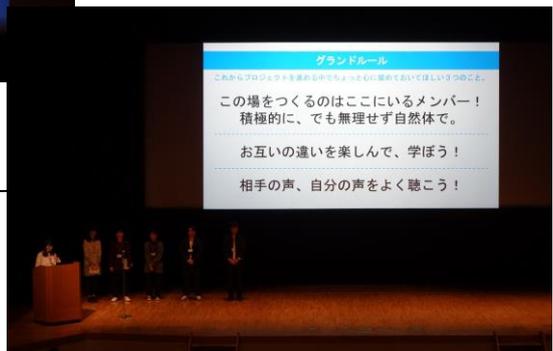


すぎなみ U30 ミーティング

今年からスタートした、30 歳以下対象の「すぎなみ U30 ミーティング」。
プロジェクトメンバーたちが、まちの中で実施した「みんなの大運動会」について発表しました。運動会の様子を動画で鑑賞し、当日のワクワクが伝わってきました。



「みんなの大運動会プロジェクト」
当日映像



大人塾連



朝枝さん（代表）より発表

大人塾を卒業したメンバーで構成される任意団体「すぎなみ大人塾連」。

今年度は社会教育センターとの共催で「すぎなみフェスタ」への参加、卒業生やその関係者が企画・出店する「大人塾まつり」の開催、自分たちの学びを深める場の創出など、年間を通して様々な活動を行ったことが発表されました。



みんなでビンゴゲーム（コースを超えた交流タイム）

企画：「はじめの一步コース」のみなさん、荻上さん

ビンゴも手作り



とにかく話します



全員で記念写真。お疲れさまでした！！